

料金算定の前提となる電力需要想定

平成26年8月7日
北海道電力株式会社

1. 算定期間中の想定需要

○今回の値上げ申請は、「電源構成変分認可制度」に基づき、電源構成の変動に関連する燃料費等の変動を反映させるもの。

○現行料金の原価算定期間(H25-27)の残り2年間(H26-27)における販売電力量や年間最大電力の見通しについては、算定規則に基づき前回認可時から変更していない。

(単位: 百万kWh)

			H26 (想定)	H27 (想定)	H26-27 平均
		従量電灯AB	7,109	7,061	7,085
		従量電灯C	1,257	1,223	1,240
		時間帯別電灯	2,960	3,106	3,033
		その他電灯	643	638	641
		電灯計	11,969	12,028	11,999
		低圧電力	1,161	1,155	1,158
		その他電力	1,504	1,541	1,522
		電力計	2,665	2,696	2,680
		低圧需要(特定規模需要以外)		14,634	14,724
特定規模需要		17,121	17,224	17,173	
電力量合計		31,755	31,948	31,852	

(単位: 万kW)

最大電力 (送電端最大3日平均)	535	539	537
---------------------	-----	-----	-----

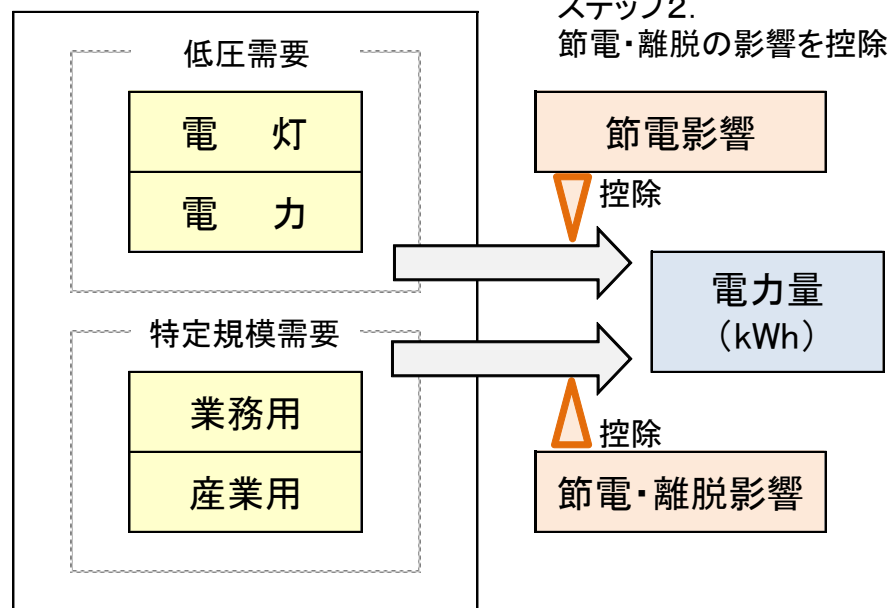
2. 想定方法（第26回電気料金審査専門委員会提出資料の抜粋）

○電力量(kWh)は、用途別に、「節電・離脱の影響がない場合の電力量」を実績傾向や個別動向を踏まえ想定し、その結果から「節電・離脱の影響」を控除して算出。

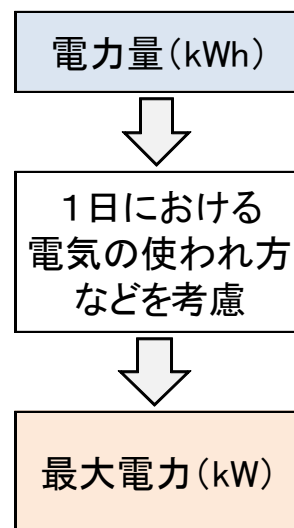
○最大電力(kW)は、想定した電力量を基に、1日における電気の使われ方などを考慮して想定。

【電力量(kWh)の想定】

ステップ1. 節電・離脱のない場合の電力量を想定



【最大電力(kW)の想定】



○節電・離脱影響量

(億kWh)

	H25-27 平均
節電影響	9.4
離脱影響	2.3

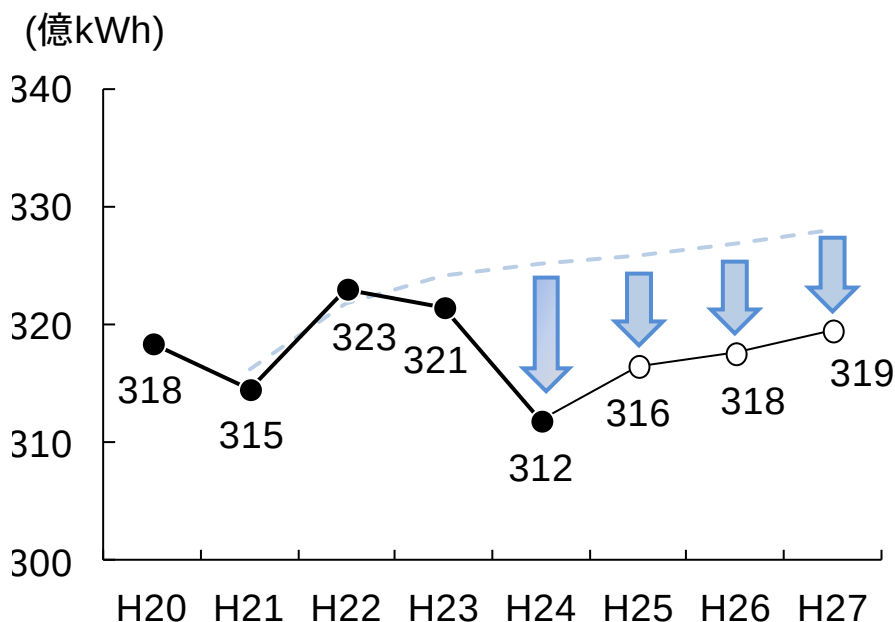
(万kW)

	H25-27 平均
節電影響	18

3. 想定結果 (第26回電気料金審査専門委員会提出資料の抜粋)

○定着した節電の影響はあるが、景気回復に伴う業務用電力での需要増加などから、電力量・最大電力ともに緩やかな伸びを見込む。

【電力量の想定結果】

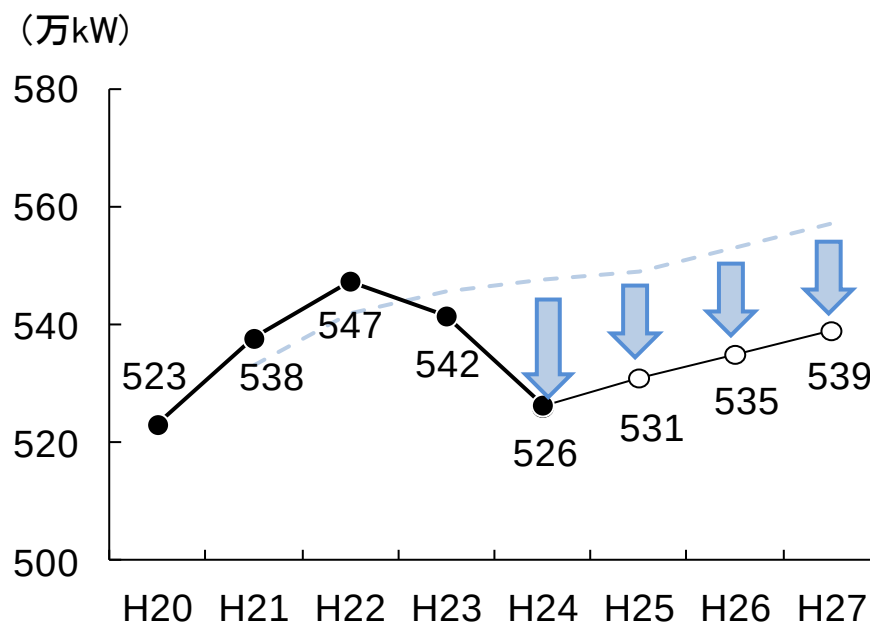


	H25	H26	H27	H25-27 平均
販売電力量 (億kWh)	1.5 316	0.3 318	0.6 319	0.8 318

注1) 表内上段は対前年伸び率(H25-27上段は3年平均伸び率)

注2) 自社需要(建設工事用電力、事業用電力)を含む

【最大電力の想定結果】



	H25	H26	H27	H25-27 平均
最大電力 (万kW)	0.9 531	0.8 535	0.7 539	0.8 535

注1) 表内上段は対前年伸び率(H25-27上段は3年平均伸び率)

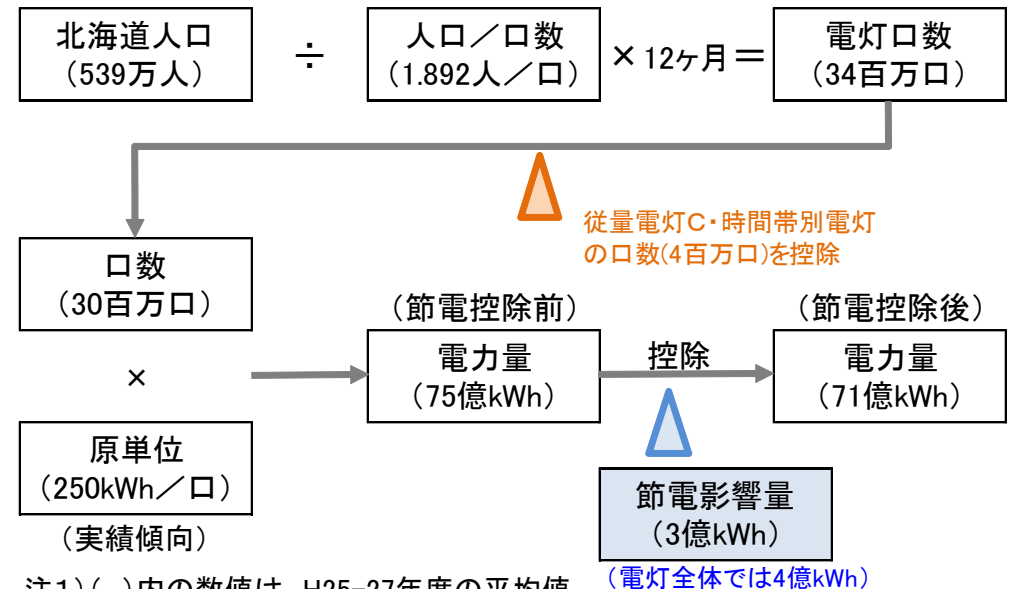
注2) 自社需要(建設工事用電力、事業用電力)を含む

想定方法(電灯)

○従量電灯AB

- ・口数は、電灯口数(人口と電灯1口あたり人口の実績傾向から想定)から、従量電灯Cと時間帯別電灯の口数を控除して想定。
- ・原単位(お客さま1口あたりの使用電力量)を実績傾向から想定。
- ・口数×原単位で電力量を算定し、節電影響量を控除し想定。

【従量電灯ABの想定フロー】



注1) ()内の数値は、H25-27年度の平均値
注2) 端数の関係で差し引きが合わない場合がある

○従量電灯C^{注1}・時間帯別電灯

- ・それぞれの口数を基に算定した契約電力と、実績傾向から想定した原単位(契約電力あたりの電力量)を乗じて、節電影響量を控除し想定。

○その他電灯(定額・臨時・公衆街路灯)

- ・契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定。

注1; 小規模の事務所や商店など契約電力が6kVA以上の電灯契約

4. 想定内容(2)低圧需要②（第26回電気料金審査専門委員会提出資料の抜粋）

5

想定方法(電力)

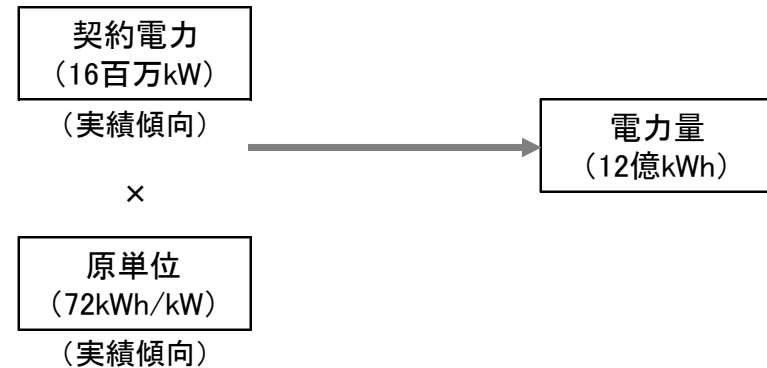
○低圧電力・深夜電力

- ・契約電力と原単位(契約電力あたりの電力量)を実績傾向から想定し、契約電力×原単位で算定。

○その他電力(農事用、融雪用・臨時など)

- ・契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定。

【低圧電力の想定フロー】



注) () 内の数値は、H25-27年度の平均値

想定結果の概要(低圧需要)

- 電灯は、定着した節電の影響は継続するが、時間帯別電灯の増加などにより、平成25～27年度平均で0.6%の伸びを見込む。
- 電力は、融雪用電力の増加はあるが、平成25年度の前年厳冬影響の反動などから、平成25～27年度平均で横ばいを見込む。

	H25	H26	H27	H25-27 平均
電灯計 (億kWh)	1.0 119	0.3 120	0.5 120	0.6 120
電力計 (億kWh)	▲ 3.7 26	2.7 27	1.2 27	0.0 26

H24厳冬による融雪用電力などの高稼働の反動などから前年実績を下回る

注) 表内上段は対前年伸び率(H25-27上段は3年平均伸び率)

4. 想定内容(3)特定規模需要（第26回電気料金審査専門委員会提出資料の抜粋）

6

想定方法(特定規模需要)

○業務用

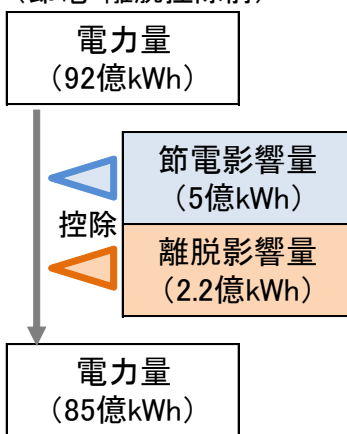
- ・節電・離脱考慮前の電力量を実績傾向により想定し、節電影響量および新電力への離脱影響量を控除し想定。

○産業用

- ・節電・離脱考慮前の電力量を実績傾向や大規模工場の個別動向を勘案し、節電影響量および新電力への離脱影響量を控除し想定。

【業務用の想定フロー】

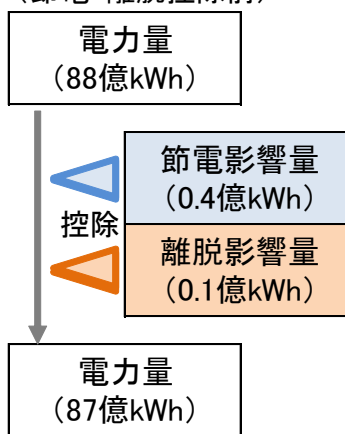
（節電・離脱控除前）



（節電・離脱控除後）

【産業用の想定フロー】

（節電・離脱控除前）



（節電・離脱控除後）

注）（ ）内の数値は、H25-27年度の平均値

想定結果の概要(特定規模需要)

- 業務用は、定着した節電の影響は継続するが、医療保健施設の新増設などにより、平成25～27年度平均で0.7%の伸びを見込む。

- 産業用は、平成25年度に前年の自家発電稼働の増加で需要を抑制していただいた反動などから、平成25～27年度平均で1.5%の伸びを見込む。

	H25	H26	H27	H25-27 平均
業務用 (億kWh)	0.9 84	0.5 85	0.7 85	0.7 85
産業用 (億kWh)	4.5 87	▲ 0.4 86	0.5 87	1.5 87

H24の需要減(自家発電稼働増)の反動により高い伸び

一部お客さまの自家発電増設の影響などにより減少

注）表内上段は対前年伸び率（H25-27上段は3年平均伸び率）

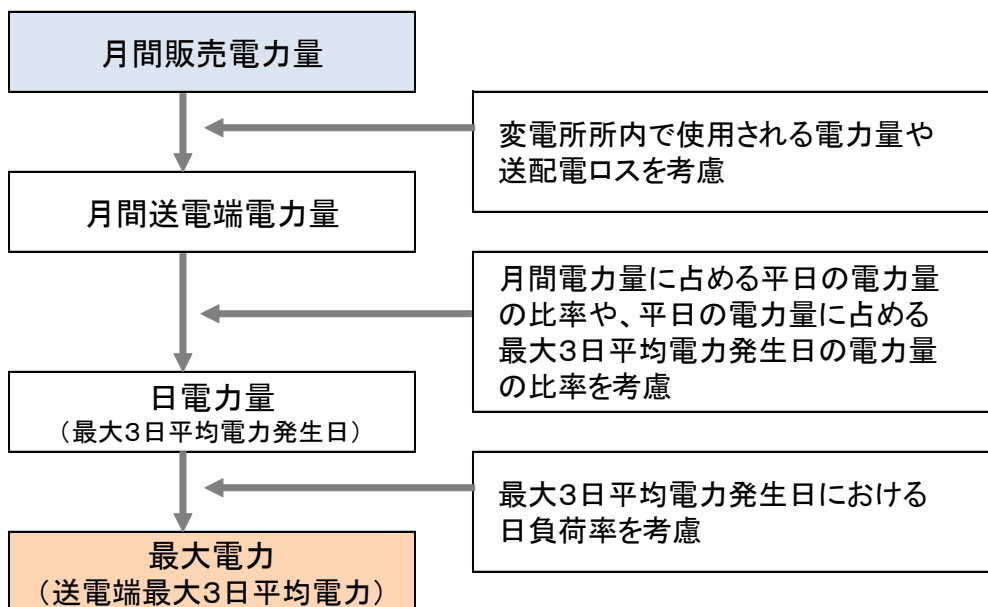
4. 想定内容(4)最大電力（第26回電気料金審査専門委員会提出資料の抜粋）

7

想定方法

○月間の販売電力量を基に、実績傾向を考慮した送配電損失率、日負荷率などから想定。

【最大電力の想定フロー】



送電端:

発電所で発電された電力から、発電所の所内で使用される電力を控除した、実際に系統に流れる電力

最大3日平均電力:

月間における毎日の最大電力(1時間平均)から上位3日分の平均電力。

想定結果の概要

○定着した節電の影響は継続するが、電力量の増加に伴い、平成25～27年度平均で0.8%の伸びを見込む。

	H25	H26	H27	H25-27 平均
最大電力 (万kW)	0.9 531	0.8 535	0.7 539	0.8 535

注) 表内上段は対前年伸び率(H25-27上段は3年平均伸び率)

【参考1】平成25年度の需要実績について①

○平成25年度実績は、販売電力量が306億kWh、最大電力が517万kWとなった。

○計画（前回認可時の前提需要）との差は、販売電力量で▲10億kWh程度、最大電力で▲14万kW程度。

（単位：億kWh）

			実績	計画値	計画差
		従量電灯AB	69	72	▲ 3
		従量電灯C	13	13	0
		時間帯別電灯	28	28	0
		その他電灯	6	6	0
		電灯計	116	119	▲ 3
		低圧電力	12	12	0
		その他電力	14	14	0
		電力計	26	26	0
	低圧需要(特定規模需要以外)		142	145	▲ 3
特定規模需要		164	171	▲ 7	
電力量合計		306	316	▲ 10	

（単位：万kW）

最大電力 （送電端最大3日平均）	517	531	▲ 14
---------------------	-----	-----	------

【参考2】平成25年度の需要実績について②

○販売電力量の計画差(▲10億kWh程度)について、主な要因は以下のとおり。

①定着節電量の増加: ▲3億kWh程度

(▲9.4億kWh→▲12.7億kWh)

②需給対策の影響: ▲4億kWh程度

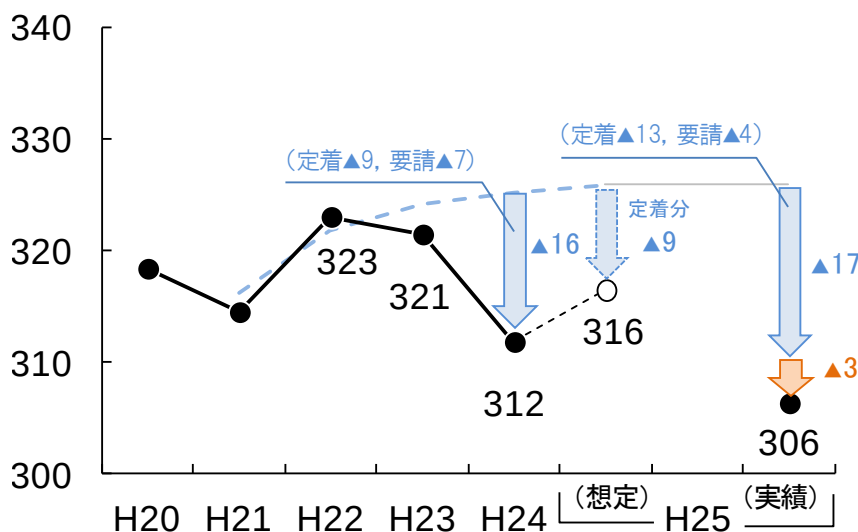
③その他(産業用での生産減等): ▲3億kWh程度

・冬季について、以下の期間・時間において平成22年度比▲6%以上の節電のご協力をいただいた他、自家発電の稼働増により需要抑制いただいた。

節電をお願いした期間	節電をお願いした時間帯
12月9日から3月7日の平日※	16時から21時

※12月30日から1月3日を除く

(億kWh) 【販売電力量(kWh)の実績と計画差】



【計画差の用途別内訳】

(億kWh)

	電灯	特定規模需要		計
		業務	産業	
定着節電	▲1	▲2	0	▲3
需給対策	0	0	▲4	▲4
その他	▲2	0	▲1	▲3
計	▲3	▲2	▲5	▲10

【参考3】直近の見通し(平成26年度供給計画)について

10

○平成26年度供給計画(平成26年3月届出)では、平成25年度の動向を踏まえ、「定着した節電」の増加分が平成26年度以降も継続するものとし、平成25年度供給計画(前回認可時の前提需要)から各年度で▲3億kWh/年程度を下方修正。

○用途別の「節電・離脱の影響がない場合の電力量」や離脱影響は、実績動向を踏まえた結果、平成25年度供給計画から若干の修正となった。

(単位: 億kWh)

		H26供給計画 ①		前提需要 ②		差 ①－②	
		H26	H27	H26	H27	H26	H27
	電灯計	118	119	120	120	▲ 2	▲ 1
	電力計	27	27	27	27	0	0
低圧需要(特定規模需要以外)		145	146	147	147	▲ 2	▲ 1
特定規模需要		169	171	171	172	▲ 2	▲ 1
電力量合計		314	317	318	319	▲ 4	▲ 2

(単位: 万kW)

最大電力 (送電端最大3日平均)	530	533	535	539	▲ 5	▲ 6
---------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----